

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《第2学年 2学期 調べ学習や体験学習を通して様々な生き方や目標に出逢い、働くことへの理解を得る》
- 2 単元名 『ワーク&ライフ体験』 (全25時間=想定される実施時期: 8月~12月)
- 3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

井原の「もの」「ひと」「しごと」に出逢うことを通して、生徒一人ひとりの自らの生き方について考えることができる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		保護者へのインタビューを通して、働くこと、生きることについて考える。	調べ学習を通して、井原市内の企業をしる。	井原市内の事業所で、体験活動に取り組む。	体験活動のまとめ・発表をする。
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> (郷土愛と当事者性)		様々な魅力のある事業所が、井原市にあることを知る。		
	<b>やり抜く力</b> (忍耐と向上心)	体験学習を成功させようとする目標を設定する。また、体験学習から何かを学ぼうとする意欲を持つ。		体験を通して、自らの頑張りが様々なことに反映された達成感を感じる。	
	<b>まき込む力</b> (発信と協働)				他学年への紹介から、井原市内の事業所の良さを伝える。
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>			地域に還元される仕事(もの・こと)の体験	
	<b>ひと</b>	ワーク&ライフ交流会により地域の方のお話や体験談を聞く	インタビューを通して、井原市で働く人を知る		
	<b>しごと(こと)</b>		井原市内の様々な事業を調べる		井原市の事業(仕事)が、社会にどのように貢献しているのかをSDGsと関連づけて考える。
<b>アウトプットの工夫</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開日等の授業参観で「ワーク&amp;ライフ体験」の発表会を行い、体験から学んだことを伝える。</li> <li>・学年だよりに生徒の振り返り等を掲載し、保護者と共有する。</li> </ul>			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

道徳「和樹の夏祭り(郷土の伝統と文化の尊重)」  
 「小さな工場の大きな仕事(社会への貢献)」  
 「おばあちゃんのくれた"おまじない"(働くということ)」

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

まとめ・表現において、他学年や保護者に体験から学んだことを伝える。

◆単元のねらい 井原の「もの」「ひと」「しごと」に出逢うことを通して、生徒一人ひとりの自らの生き方について考えることができる。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 働くことの大変さ絵を学び、社会に貢献する喜びが分かった。
- △進路選択につながるように、事後の指導をより充実させたい。
- ☆仕事の分野によっては、協力していただける事業所が少ない所があったので新たな事業所を探す必要がある。  
体験活動の時期によっては、年度始めから準備に動く必要がある。